



株主の みなさまへ



第62期 第2四半期
営業のご報告

2022年4月1日～2022年9月30日



通期黒字へ取り組みを強化しつつ、アパレル・ファッション業界のクリエイティブを支援し、真のサステナブルな社会を目指します。

Q₁

上半期(2022年4月～9月)の業績について説明してください。

A₁

設備投資需要の回復により売上は拡大、利益面も回復傾向となっています。

当期(2023年3月期)上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、米国の積極的な金融引き締め、ロシアのウクライナ侵攻による欧州の混乱、ゼロコロナ政策による中国の景気減速、国内での急激な円安の進行など、世界経済は全体的に先行き不透明な状況が続きました。こうした状況下、当社グループは前年度から開始した中期経営計画「Ever Onward 2023」にもとづき、ホールゲーム®横編機の拡販、ソリューションビジネスの拡大など、サステナブルなものづくりを支援する製品・サービスの提案活動を世界各地の顧客・業界に向けて展開しました。また、6月にドイツ・フランクフルトで開催されたテクニカルテキスタイル業界における国際展示会「Techtextile2022」では、産業資材向け編機のプロトタイプ機やサンプルを出展し、ビジネスの可能性を訴求すると同時に新たな市場へのアプローチを推進しました。

代表取締役社長
島 三博



当社グループが製品を供給するアパレル・ファッション業界においては、昨年度から各国の経済活動の再開にともない、消費・生産のマインドが改善しています。当上半期も、地域によって若干の差はあるものの、顧客の設備投資は総じて回復基調が続きました。ただし、昨年度後半からの部品・原材料の調達難やサプライチェーンの混乱といった状況は依然として回復しておらず、お客様の希望どおりの納期を設定できないケースが依然続いています。また需給ひっ迫による部品・原材料の著しい価格高騰、エネルギー価格の値上がり、さらに昨年度から続く世界的な海上輸送費の高騰なども相まって事業コストが膨れあがっています。

これらの結果、上半期の連結売上高は179億18百万円(前年同期比13.3%増)の増収となりました。利益面については、営業損失4億35百万円(前年同期は13億55百万円の損失)、経常損失2億7百万円(前年同期は8億44百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失5億11百万円(前年同期は10億68百万円の損失)と、残念ながら前期に続いてマイナスの利益計上となりましたが、赤字幅は前年同期に比べて縮小しました。

Q₂

事業別の状況はいかがでしょうか？

A₂

設備投資の回復を受け、横編機・デザインシステムとも売上が伸びました。

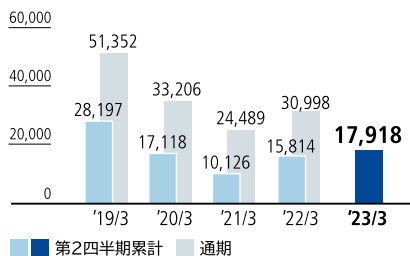
当社のコア・ビジネスである横編機事業では、全体的に各国の需要回復にともない受注が堅調に拡大しました。

主力市場の中国では、上海のロックダウンなどにともなうサプライチェーンの混乱によって生産活動や設備投資が停滞した一方、香港系の大手顧客で生産効率の高い「N.SVR」を中心に販売が増加するなど、まだら模様の推移となりました。一方、先進国向けニット製品のOEM生産拠点であるバングラデシュなど他のアジア市場では、大手アパレルからの受注が回復したことで設備投資が活発化し、当社の売上も伸長しました。

欧州地域では、特に付加価値の高い商品開発を得意とするイタリア市場において、経済活動の再開にともない設備投資が活発化、ホールガーメント横編機や高いデザイン性を発揮する成型編機を中心に需要が増加しました。またトルコでも、欧州アパレルからの受注拡大により設備投資が

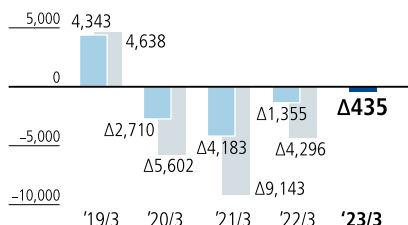
売上高

(百万円)



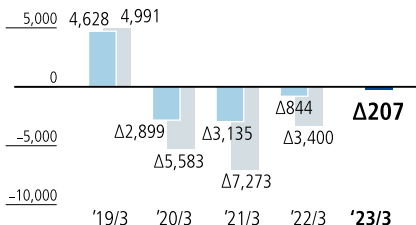
営業利益・損失(△)

(百万円)



経常利益・損失(△)

(百万円)



(注) 前第2四半期、当第2四半期の営業利益は表示区分変更後の数値を記載しています。従来、「営業外収益」に計上していた「貸倒引当金戻入益」及び「債務保証損失引当金戻入益」は、「販売費及び一般管理費」から控除する方法に変更しています。

トップメッセージ

活発化、コンピュータ横編機を中心に売上高が伸長しました。

デザインシステム関連事業においては、横編機の売上増加にともない「SDS®-ONE APEX4」の販売台数、売上高とも増加しました。またサブスクリプションサービスである「APEXFiz®」は欧米、国内アパレルブランドを中心にライセンス契約数を伸ばしました。自動裁断機「P-CAM®」も海外市場を中心に販売が増加しました。

Q₃ 下半期以降の展望をお聞かせください。

A₃ 事業環境の改善にともない受注残を解消、4期ぶりの黒字回復をめざします。

下半期以降も戦略商品と位置付けるホールゲーム横編機を中核に、各地域の状況に応じた提案活動を全世界で展開していきます。上半期の業績は利益面で厳しい結果となりましたが、欧州市場を中心に設備投資需要は総じて拡大傾向にあり、受注や引き合いの数が堅調に伸びてコロナ前の水準に近づきつつあります。景気が減速傾向を見せている中国市場も、政府支援の効果等により個人消費や生産

活動が徐々に回復すると見込まれます。

部品・原材料の調達難は現在も続いています。世界的な半導体・電子部品の供給不足は徐々に解消に向かっていくと予想されており、当社の部品・原材料についても下半期、特に例年受注がピークを迎える第4四半期以降には改善され、より積極的な提案活動が展開できるようになると見込んでいます。

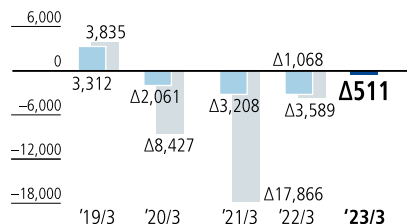
これらのことから、現在積み上がっている受注残は下半期全体を通して解消され、売上増加とともに利益も回復できると予想しています。この結果、当期の通期連結業績については売上高445億円、営業利益10億円、経常利益16億円、親会社株主に帰属する当期純利益8億円を見込んでおり、4期ぶりの黒字回復を果たせる見通しです。

Q₄ 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

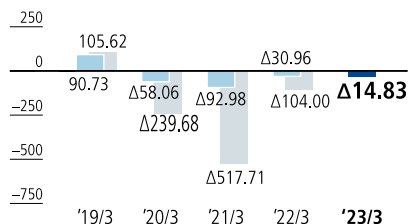
A₄ アパレル・ファッション業界の「創造性」に寄与し、企業価値を高めていきます。

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した

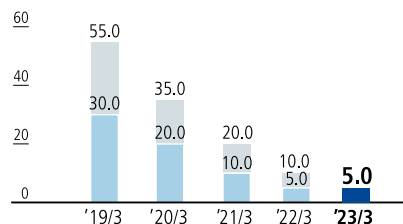
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益・損失(△) (百万円)



1株当たり四半期(当期)
純利益・損失(△) (円)



1株当たり配当金 (円)



配当を長期にわたって継続することを基本方針としています。当上半期は前期に続いて赤字計上とはなりましたが、下半期における業績の回復および安定配当維持の基本方針を鑑み、一株当たり中間配当5円を実施し、期末配当10円の計15円を実施させていただく予定です。

当社グループは今年「創立60周年」という節目の年を迎えました。60年前に手袋編み機でスタートした当社は、その後、横編機業界への参入を果たし世界初のホールゲーム横編機を生み出しました。さらにバーチャルでのサンプル制作を可能にするデザインシステム、多様な産業分野で活躍できる自動裁断機と、つねに新たなチャレンジによって「世の中になくのもの」を創造し続けてきました。

これらの製品・サービスを活用した新しいものづくりのあり方を当社では「トータルファッションシステム」と名付け、業界に提案してきました。トータルファッションシステムによる「サステナブルなものづくり」は、大量生産と過剰在庫による無駄やそれにとまなう環境負荷など、アパレル・ファッション業界が抱える課題の解決に寄与するものです。

ただし、この業界が真にサステナブル（持続可能）であるためには、無駄を省くことによる効率化や環境負荷の低減



だけでなく、ユーザーに感動や驚きを与えるクリエイティビティ（創造性）が何よりも重要であると考えます。私たちシマセイキはアパレル・ファッション業界のイノベーションカンパニーとして、これからもクリエイティビティを発揮できる製品・サービスの提供、ソリューションの提案に努め、自らもサステナブルな成長を目指してまいります。株主の皆様には、引き続き温かいご理解、ご支援をお願い申し上げます。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言への賛同を表明



気候変動が私たちの今後の持続的成長へ影響を及ぼすことを認識し、2022年6月に「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」への賛同を表明いたしました。

顕在化する気候変動問題に対する社内外のガバナンス

体制の構築に加え、現状のCO₂排出量を把握し削減するための戦略を立てました。2050年のカーボンニュートラル達成を目標に掲げ、今後も環境に配慮したものづくりを進めてまいります。

創立60周年イベントをリアル×オンラインの両方で開催 お客様との関係づくりに役立てました

2022年9月から11月の3ヵ月間、本社ビル会場とオンライン特設サイトにおいて60周年記念イベントを実施しました。

本社ビル会場では、60年間の歩みを表す歴史展示に加え、最新機種や試作機の展示をおこなうとともに、関連会社や協力企業・団体との取り組みの成果を通し、お客様やその先の消費者の皆様がワクワクするような提案をおこないました。会場には世界中から500名を超えるクライアント様にお越しいただきました。

イベントのコンセプト Sustainability@SHIMA SEIKI ～ Open Up the Future ～

創業以来、人や地球環境にやさしいモノづくりを発信してきた当社が、『サステナビリティ』というキーワードを通じてニット/ファッション業界はもちろん、新たな業界(ステージ)においても『未来を切り拓いていく』との想いを込めています。



オンライン特設サイトでオンラインセミナーも開催

オンライン特設サイトでは、60年の歴史だけでなく、動画を使ったファッションショーやトータルファッションシステムの紹介をすることができます。

また、クライアント向けオンラインセミナーも開催するなど、営業活動につながるように展開をいたしました。



<https://www.shimaseiki.co.jp/60th/>

REAL

バーチャルファッションショー



リアルサンプルでは伝えきれない、バーチャルならではの、さまざまな見せ方を紹介しました。

アパレルサンプル展示



サステナブルとダイバーシティ/インクルージョンをテーマに、新しいファッションを追究しました。

応用サンプル展示



ホールゲームサンプルを実際に手に取ることで、ニットの可能性を感じてもらい、非アパレル分野への応用に活かします。

ホールゲーム横編機の歴史展示



ホールゲーム®横編機の歴史を5世代に整理し、各世代間の技術革新の内容を紹介しました。

産業資材サンプル展示



炭素繊維を横編機で形作ったサンプルを展示。軽く強靱な炭素繊維の可能性が広がります。

関連会社展示



関連会社が幅広い分野で取り組んでいる、サステナブルで最先端の技術を紹介しました。

コラボレーションで未来に向けて加速しています

KDDI株式会社様との取り組み

スマートグラスで目の前の服を立体的に見てとれる

お手持ちのスマートフォンやタブレット端末を利用して、アパレル商品のイメージを360度から確認できるXRマネキンを活用し、当社のAPEXFizで企画・デザインした衣服のデザインデータをデジタルカタログやECサイト・実店舗での販促ツールとして活用することが可能になります。

さらに当社60周年記念イベントでは、スマートグラスを着用すると、目の前の光景にバーチャルサンプルが現れ、360度から回り込んでサンプルの確認ができるデモをおこないました。



本物のひとがそこにいるような
“バーチャルヒューマン”が
ホールガーメント®のニットを着て動く

MITメディアラボ様との取り組み

糸自体を伸縮させる技術で、多彩な応用の可能性が広がる

MIT(マサチューセッツ工科大学)様で開発されている最先端の繊維技術と、当社のホールガーメントをはじめとするニット技術とを融合させ、ファッション分野以外にも、医療やインテリアなどさまざまな分野においてニット技術を応用しています。

60周年記念イベントでは、空気圧や温度差によって糸が伸び縮みする機能性糸への取り組みを展示しました。条件によって形状変化する繊維技術をホールガーメント®に取り入れ、新しい提案ができるよう、今後も研究を続けてまいります。



ユーザーがデジタルデータを購入できる「シマデータモール」を開設

2022年6月、デジタルコンテンツのWEBサービス「SHIMA Datamall (シマデータモール)」を開設しました。

シマデータモールは、デザインシステムなど当社システムの各種デジタルデータを6,000点以上保存しており、検索・閲覧・購入することができるオンラインサービスです。

糸データ検索サービスの「yarnbank」とともに、ユーザーが業務の効率化を図り、モノづくりのDX化（デジタル化）をさらに進めることで、サステナブルなモノづくりへシフトすることを目指しています。

SHIMA  Datamall™



<https://datamall.shimaseiki.com/>

国産ニット製品の販売サイト「ブルーニットストア」をオープン

2022年9月、国産ニット製品を販売するオンラインショッピングサイト「BLUEKNIT store (ブルーニットストア)」を開設しました。

「ブルーニット」という名前には「青い星、地球とニット」という意味を含んでおり、“BLUEKNIT”のネームタグがついている商品をすべて買戻しするなど、廃棄ゼロのニット製品を提供するプラットフォームとして発展させていきます。

また、この取り組みを通じ、国内メーカーのD2C (Direct to Consumer) ビジネスを応援し、繊維製品の国産化率の向上も合わせて目指していきます。

 BLUEKNIT



<https://blueknit.jp/>

詳細な財務諸表は、下記URLもしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/list.php>

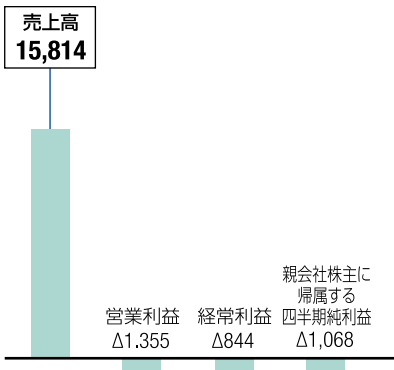


① 損益計算書の概要

※△は損失を示しております。(百万円)

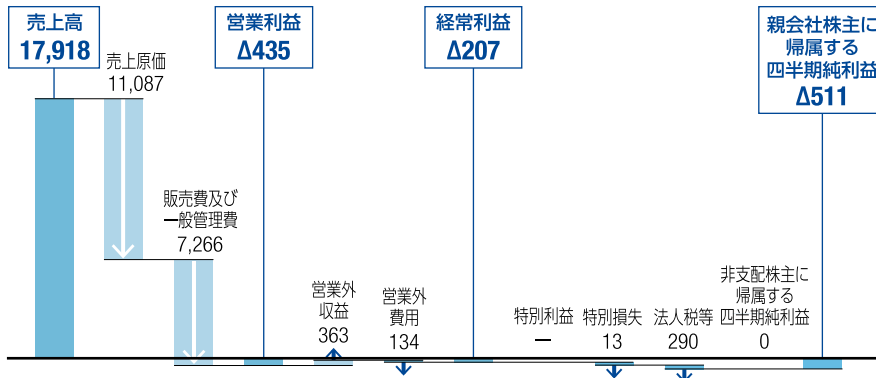
前第2四半期累計

(2021年4月1日～2021年9月30日)



当第2四半期累計

(2022年4月1日～2022年9月30日)

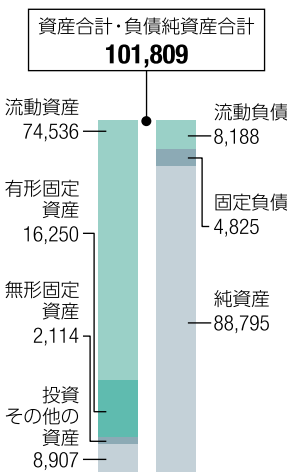


② 貸借対照表の概要

(百万円)

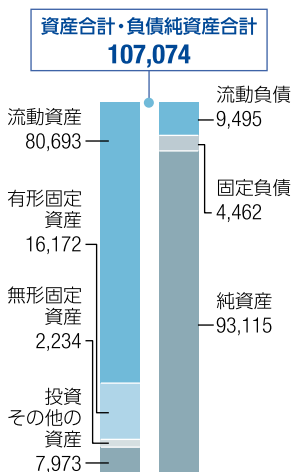
前期末

(2022年3月31日)



当第2四半期末

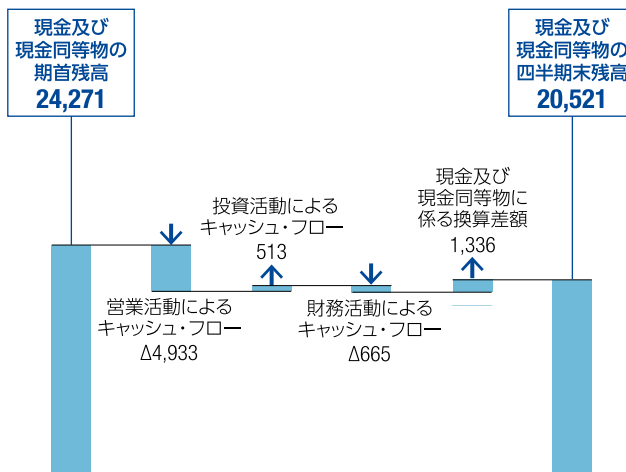
(2022年9月30日)



③ キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

当第2四半期累計



会社概要・株式概要

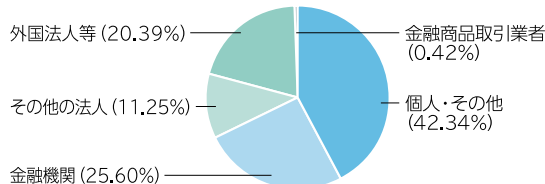
詳細な会社情報は、下記 URL もしくは
右の2次元バーコードからご覧いただけます。
<https://www.shimaseiki.co.jp/company/profile/>



会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 株式会社島精機製作所
(英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社 和歌山県和歌山市坂田85番地
創立 1962年2月4日
資本金 148億5,980万円
従業員数 1,382名(連結1,853名)

所有者別分布 (2022年9月30日現在)



役員 (2022年9月30日現在)

地位	氏名	地位	氏名
代表取締役会長	島 正博	社外取締役	一柳 良雄
代表取締役社長	島 三博	社外取締役	残間 里江子
取締役	梅田 郁人	取締役 (常勤監査等委員)	戸津井 久仁
取締役	南木 隆	社外取締役 (監査等委員)	新川 大祐
取締役	大谷 明広	社外取締役 (監査等委員)	野村 祥子
取締役	北川 尚作		

大株主 (2022年9月30日現在)

(千株未満切り捨て)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,039	11.70
和島興産株式会社	3,001	8.70
株式会社紀陽銀行	1,387	4.02
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,273	3.69
島 正 博	1,070	3.10
島 三 博	1,061	3.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	901	2.61
株式会社三菱UFJ銀行	880	2.55
合同会社和光	780	2.26
梅 田 千 景	632	1.83

(注) 1. 当社は、自己株式1,285千株を保有しています。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 35,800,000株
- ③株主数…………… 14,320名

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 基準日 3月31日
開催日 毎年6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告
下記当社ホームページに掲載
(<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

証券会社に口座をお持ちの株主様は、住所変更の届け出や単元未満株の買い取り・買い増し等の各種お手続きに関しては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。

お知らせ

2022年3月期の統合報告書を発行しました

統合報告書とは、財務情報と非財務情報を統合し、投資家や世間に向けてアピールするための資料です。主に企業理念、価値創造ストーリー、事業戦略などが記載されています。当社は昨年度から発行を始め、今年度で2回目の報告書となります。



当社の過去・現在の歴史や業績と、 これから歩むべき将来ビジョンを掲載

業績などの財務情報と、ESG（環境 / 社会 / ガバナンス）関連の取り組みを掲載し、当社の中長期的な成長と将来ビジョンおよびそれを実現するための価値創造プロセスを、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ理解していただけるように構成しています。

ステークホルダー（利害関係者）やサステナビリティ関連情報が充実

環境への配慮や気候変動問題への当社の方針に加え、取締役へのインタビューや研究開発方針を掲載し、当社の取り組みが一望できる内容となっています。



紙面イメージ



2次元バーコード、下記 URL からご覧いただけます。

<https://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/list.php?cate=3>



株式会社島精機製作所
〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL(073)471-0511(代表)
<https://www.shimaseiki.co.jp/>



ホールガーメントおよびWHOLEGARMENT等は株式会社島精機製作所の登録商標です。
この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。